

皆が学習にも行事にも熱いところが良い

Y. S.

立教大学 現代心理学部 心理学科 進学

日立市立 助川中学校 卒業

まず、茨高では課外を無料で好きなものをいくらでも受講できることが魅力だと考えます。レベル別に開講されるものもあるので自分の弱点や習熟度にあわせて受講すると自分の力をつけることができますと思います。また、自由に選ぶことができるので自分の予定と両立できますし、モチベーションの維持にも繋がります。進路指導については、茨高の先生方は手厚く指導していただきますので安心してください。進路指導室には膨大な数の赤本だけでなく、青本、黒本、共用の教材や小論文用の教材などが揃っています。とても通いやすい雰囲気で、高3のときには友達とよく通っていました。悩んでいる生徒がいればじっくりと話を聞いて詳しく教えてくれる、受験生にとって心強い場所です。

3年間の一番の思い出は「文化祭」です。文化祭は高校生ならではの行事ということもありますが、茨高はどのクラスもクオリティーが非常に高く、作り出すのも他のクラスの出し物を体験するのも想像以上に有意義な時間になると思います。クラスごとの出し物とポスターで順位が出るため、生徒はやる気MAXでクラス一丸となって取り組みます。買い出しに行ったり、放課後遅くまで残りいつもとちよっぴり違う教室の雰囲気を味わうのも醍醐味です。また、個性の強い人が多いので様々な意見が飛び交うのもまた茨高ならではの良さだと思います。そして茨高の文化祭は有志によるバンドやドラマ作成、MVの作成等の発表も行われます。いつものクラスメイトの意外な一面を知れる貴重な時間で最高に盛り上がります。

茨高の良いところは、皆が学習にも行事にも熱いところです。テスト期間が始まる2週間前には放課後に教室や自習室に残って勉強する人が見られ、茨高から水戸駅の通りの道の水戸市民会館や駅のカフェは勉強する茨高生で埋まります。みんなやっているからやろう、友達が頑張っているから一緒に頑張ろう、というような人から人へとやる気の連鎖があると思います。私自身が始めはこのように周りに影響され、刺激されて頑張っていました。段々と頑張ることが習慣化し最終的には頑張る楽しさ、達成感が好きになっていて、このように成長できたのは茨高に進学したおかげだなと感じます。茨高生は学習だけでなくクラスマッチや文化祭、遠足などの行事もしっかり楽しみます。文化祭では流行りに乗ってネームボードを作ったり自分のクラスに合ったコスチュームを身につける生徒やクラスマッチではピコピコハンマーやメガホンを使って応援したりと工夫をこらし全力で楽しんでいます。高入生になる方々は一貫生との関係性に不安を感じると思います。茨高では高3で初めて一貫生と高入生が同じクラスになるのですが、高3になる前から部活動などを通じて仲良くなった人もできると思いますし、部活動などをしていなくても偏見を持たずに関わっていけば絶対に仲良くなれると思います。

大学進学後は、茨高で培った力を発揮して日々頑張りたいと思います。